

科目「SSH研究I」のルーブリック

佐賀県立致遠館高等学校理科第1学年 ver3.0 (令和2年度)

3つの柱	観 点	学習到達レベル				授業のどんな学習活動で身に付いたと思うか？(自由記述)	自己評価 (S/A/B/C)	教員の評価 (S/A/B/C)
		期待を上回る水準(S)	目標水準(A)	目標まであと一步(B)	要改善(C)			
知識及び技能	研究活動についての理解	意義や過程 研究倫理	研究活動の意義や過程を理解することができ、研究倫理(不正行為、生命・人権の配慮)について理解することができる。	研究活動の意義や過程を理解することができ、研究倫理(不正行為、生命・人権の配慮)について理解することができる。	研究活動の意義や過程を理解する努力ができるが、研究倫理(不正行為、生命・人権の配慮)について理解することができない。	研究活動の意義や過程を理解することができない。他者から指摘されて気づく。		
	研究テーマ設定のための知識	書籍等の知識 関連付け	自分達が取り組みたい研究に必要な知識を書籍や教科書等から得ることができ、既得の知識と関連付けることができる。	自分達が取り組みたい研究に必要な知識を書籍や教科書等から得ることができ、既得の知識と関連付ける努力ができる。	自分達が取り組みたい研究に必要な知識を書籍や教科書等から得る努力ができるが、既得の知識と関連付けることができない。	自分達が取り組みたい研究に必要な知識を書籍や教科書等から得ることができない。他者から教えてもらって得る。		
力、考 表力 現力 判 等断	論理的思考力	収集と整理 筋道立て	事実やデータを適切に収集・整理することができ、筋道立てて結論を導き出し、人が理解できる適切な表現ができる。	事実やデータを適切に収集・整理することができ、筋道立てて結論を導き出し、人が理解できる適切な表現ができる。	事実やデータを適切に収集・整理する努力ができるが、筋道立てて結論を導き出し、人が理解できる適切な表現ができない。	事実やデータを適切に収集・整理することができない。他者から促されて取り組む。		
学びに向かう力、人間性等	試行錯誤から学ぶ力 *学習活動を通して試行錯誤した経験を別紙に書いて回答すること。	原因や理由 改善策や教訓	自分が試行錯誤した事実をもとに原因や理由を書くことができ、改善策や教訓を書くことができる。	自分が試行錯誤した事実をもとに原因や理由を書くことができ、改善策や教訓を書く努力ができる。	自分が試行錯誤した事実をもとに原因や理由を書く努力ができるが、改善策や教訓を書くことができない。	自分が試行錯誤した事実をもとに原因や理由を書くことができない。他者から指摘されて気づく。		
	メタ認知的活動 (自分の考えを客観的にとらえることや、状況に合わせて自分の考えを修正すること)	考えを客観化 方法等の修正	何を解決したいかや実験方法が妥当かを考えることができ、課題解決に向けて研究の方向性や方法を修正することができる。	何を解決したいかや実験方法が妥当かを考えることができ、課題解決に向けて研究の方向性や方法を修正する努力ができる。	何を解決したいかや実験方法が妥当かを考える努力ができるが、課題解決に向けて研究の方向性や方法を修正することができない。	何を解決したいかや実験方法が妥当かを考えることができない。他者から指摘されて気づく。		
	特殊的好奇心 (矛盾や不整合を解消するため特定の情報を探し求める好奇心)	妥当性の判断 仮説の設定	仮説の妥当性を判断することができ、課題についてより深く探り当てたいと次の仮説を設定して取り組むことができる。	仮説の妥当性を判断することができ、課題についてより深く探り当てたいと次の仮説を設定して取り組む努力ができる。	仮説の妥当性を判断する努力ができるが、課題についてより深く探り当てたいと次の仮説を設定して取り組むことができない。	仮説の妥当性を判断することができない。他者から指摘されて気づく。		
	G R I T(やり抜く力)	粘り強い努力 興味の一意性	課題の解決に向けて、粘り強く努力することができ、一貫して同じ対象に興味を持って取り組むことができる。	課題の解決に向けて、粘り強く努力することができ、一貫して同じ対象に興味を持って取り組むよう意識することができる。	課題の解決に向けて、粘り強く努力するよう意識することができるが、一貫して同じ対象に興味を持って取り組むことができない。	課題の解決に向けて、粘り強く努力することができない。他者から促されて取り組む。		
	協働的に取り組む態度	目標の共有 教えあひ協力	課題の解決に向けて班員と目標を共有でき、価値観や意見が異なる班員とも互いに教えあひ、協力して取り組むことができる。	課題の解決に向けて班員と目標を共有でき、価値観や意見が同じ班員とは互いに教えあひ、協力して取り組むことができる。	課題の解決に向けて班員と目標を共有する努力ができるが、互いに教えあひ協力して取り組むことができない。	課題の解決に向けて班員と目標を共有できない。他者から促されて取り組む。		

記載 年 月 日 ()	研究分野 (数学/物理/化学/生物/共創)	研究テーマ	1 年 組 号	氏名
--------------	--------------------------	-------	---------	----

科目「SSH研究Ⅱ」のルーブリック

3つの柱	観 点	学習到達レベル				授業のどんな学習活動で身に付いたと思うか？(自由記述)	自己評価 (S/A/B/C)	教員の評価 (S/A/B/C)
		期待を上回る水準(S)	目標水準(A)	目標まであと一步(B)	要改善(C)			
知識 能力及び	研究のための知識・技能	論文等の知識	先行研究となる論文等から研究に必要な知識・技能を得ることができ、既得の知識・技能と関連付けて研究に活用できる。	先行研究となる論文等から研究に必要な知識・技能を得ることができ、既得の知識・技能と関連付けて研究に活用する努力ができる。	先行研究となる論文等から研究に必要な知識・技能を得る努力ができるが、既得の知識・技能と関連付けて研究に活用できない。	先行研究となる論文等から研究に必要な知識・技能を得ることができない。他者から教えてもらって得る。		
		関連付け						
思考力、 表現力、 判断力	クリティカルシンキング	影響されない	仮説に対する期待に影響されないように意識することができ、事実やデータをもとに論理的に考えることができる。	仮説に対する期待に影響されないように意識することができ、事実やデータをもとに論理的に考える努力ができる。	仮説に対する期待に影響されないように意識する努力ができるが、事実やデータをもとに論理的に考えることができない。	仮説に対する期待に影響されないように意識することができない。他者から指摘されて気づく。		
	表現力・対話力	計画や過程 表現と理解	研究計画や仮説の検証過程を理解でき、正確に表現したり、質問や意見を正確に理解したりすることができる。	研究計画や仮説の検証過程を理解でき、正確に表現したり、質問や意見を正確に理解したりする努力ができる。	研究計画や仮説の検証過程を理解する努力ができるが、正確に表現したり、質問や意見を正確に理解したりできない。	研究計画や仮説の検証過程を理解できない。他者から教えてもらって気づく。		
学びに向かう力、 人間性等	試行錯誤から学ぶ力 *学習活動を通して試行錯誤した経験を別紙に書いて回答すること。	原因や理由 改善策や教訓	自分が試行錯誤した事実をもとに原因や理由を書くことができ、改善策や教訓を書くことができる。	自分が試行錯誤した事実をもとに原因や理由を書くことができ、改善策や教訓を書く努力ができる。	自分が試行錯誤した事実をもとに原因や理由を書く努力ができるが、改善策や教訓を書くことができない。	自分が試行錯誤した事実をもとに原因や理由を書くことができない。他者から指摘されて気づく。		
	メタ認知的活動 (自分の考えを客観的にとらえることや、状況に合わせて自分の考えを修正すること)	考えを客観化 方法等の修正	何を解決したいかや実験方法が妥当かを考えることができ、課題解決に向けて研究の方向性や方法を修正することができる。	何を解決したいかや実験方法が妥当かを考えることができ、課題解決に向けて研究の方向性や方法を修正する努力ができる。	何を解決したいかや実験方法が妥当かを考える努力ができるが、課題解決に向けて研究の方向性や方法を修正することができない。	何を解決したいかや実験方法が妥当かを考えることができない。他者から指摘されて気づく。		
	特殊的好奇心 (矛盾や不整合を解消するため特定の情報を探し求める好奇心)	妥当性の判断 仮説の設定	仮説の妥当性を判断することができ、課題についてより深く探り当てたいと次の仮説を設定して取り組むことができる。	仮説の妥当性を判断することができ、課題についてより深く探り当てたいと次の仮説を設定して取り組む努力ができる。	仮説の妥当性を判断する努力ができるが、課題についてより深く探り当てたいと次の仮説を設定して取り組むことができない。	仮説の妥当性を判断することができない。他者から指摘されて気づく。		
	G R I T (やり抜く力)	粘り強い努力 興味の一意性	課題の解決に向けて、粘り強く努力することができ、一貫して同じ対象に興味を持って取り組むことができる。	課題の解決に向けて、粘り強く努力することができ、一貫して同じ対象に興味を持って取り組むよう意識することができる。	課題の解決に向けて、粘り強く努力することができるが、一貫して同じ対象に興味を持って取り組むことができない。	課題の解決に向けて、粘り強く努力することができない。他者から促されて取り組む。		
	協働的に取り組む態度	目標の共有 教えあい協力	課題の解決に向けて班員と目標を共有でき、価値観や意見が異なる班員とも互いに教えあい、協力して取り組むことができる。	課題の解決に向けて班員と目標を共有でき、価値観や意見が同じ班員とは互いに教えあい、協力して取り組むことができる。	課題の解決に向けて班員と目標を共有する努力ができるが、互いに教えあい協力して取り組むことができない。	課題の解決に向けて班員と目標を共有できない。他者から促されて取り組む。		

記載 年 月 日 ()	研究分野 (数学/物理/化学/生物/共創)	研究テーマ	2 年 組 号	氏名
--------------	--------------------------	-------	---------	----

科目「SSH研究Ⅲ」のルーブリック

3つの柱	観 点	学習到達レベル				授業のどんな学習活動で身に付いたと思うか？(自由記述)	自己評価 (S/A/B/C)	教員の評価 (S/A/B/C)
		期待を上回る水準(S)	目標水準(A)	目標まであと一步(B)	要改善(C)			
知識及び技能	研究成果をまとめ発表するための知識	論文等の知識 既知との区別	先行研究となる論文等から適切な単語や表現等を得て活用できる。既知の情報と研究による知見を区別することができる。	先行研究となる論文等から適切な単語や表現等を得て活用できる。既知の情報と研究による知見を区別することができる。	先行研究となる論文等から適切な単語や表現等を得て活用する努力ができる。既知の情報と研究による知見を区別できない。	先行研究となる論文等から適切な単語や表現等を得て活用できない。他者から教えてもらって得る。		
	段落構成や文章構成についての知識・技能	パラグラフ 文章構成	1段落に1つの主張だけを述べることができ、曖昧な表現を避けた、無生物主語や受動態を用いた文章を書くことができる。	1段落に1つの主張だけを述べることができ、曖昧な表現を避けた、無生物主語や受動態を用いた文章を書く努力ができる。	1段落に1つの主張だけを述べる努力ができるが、曖昧な表現を避けた、無生物主語や受動態を用いた文章を書くことができない。	1段落に1つの主張だけを述べることができない。他者から指摘されて気づく。		
力、考 表力 現力 判 等断	論理的思考力	収集と整理 筋道立て	事実やデータを適切に収集・整理することができ、筋道立てて結論を導き出し、人が理解できる適切な表現ができる。	事実やデータを適切に収集・整理することができ、筋道立てて結論を導き出し、人が理解できる適切な表現ができる。	事実やデータを適切に収集・整理する努力ができるが、筋道立てて結論を導き出し、人が理解できる適切な表現ができない。	事実やデータを適切に収集・整理することができない。他者から促されて取り組む。		
学びに向かう力、人間性等	試行錯誤から学ぶ力 *学習活動を通して試行錯誤した経験を別紙に書いて回答すること。	原因や理由 改善策や教訓	自分が試行錯誤した事実をもとに原因や理由を書くことができ、改善策や教訓を書くことができる。	自分が試行錯誤した事実をもとに原因や理由を書くことができ、改善策や教訓を書く努力ができる。	自分が試行錯誤した事実をもとに原因や理由を書く努力ができるが、改善策や教訓を書くことができない。	自分が試行錯誤した事実をもとに原因や理由を書くことができない。他者から指摘されて気づく。		
	メタ認知的活動 (自分の考えを客観的にとらえることや、状況に合わせて自分の考えを修正すること)	全体像の理解 適切なまとめ	まとめと発表に向けて、これまでの研究の全体像を理解することができ、適切にまとめることができる。	まとめと発表に向けて、これまでの研究の全体像を理解することができ、適切にまとめる努力ができる。	まとめと発表に向けて、これまでの研究の全体像を理解する努力ができるが、適切にまとめることができない。	まとめと発表に向けて、これまでの研究の全体像を理解することができない。他者から指摘されて気づく。		
	特殊的好奇心 (矛盾や不整合を解消するため特定の情報を探し求める好奇心)	妥当性の判断 今後の展望	仮説の妥当性を判断することができ、課題についてより深く探り当てたいと今後の展望を適切に述べることができる。	仮説の妥当性を判断することができ、課題についてより深く探り当てたいと今後の展望を適切に述べる努力ができる。	仮説の妥当性を判断する努力ができるが、課題についてより深く探り当てたいと今後の展望を適切に述べることができない。	仮説の妥当性を判断することができない。他者から指摘されて気づく。		
	G R I T (やり抜く力)	粘り強い努力 興味の一貫性	まとめと発表に向けて、粘り強く努力することができ、一貫して同じ対象に興味を持って取り組むことができる。	まとめと発表に向けて、粘り強く努力することができ、一貫して同じ対象に興味を持って取り組むよう意識することができる。	まとめと発表に向けて、粘り強く努力しよう意識することができるが、一貫して同じ対象に興味を持って取り組むことができない。	まとめと発表に向けて、粘り強く努力することができない。他者から促されて取り組む。		
	協働的に取り組む態度	目標の共有 教えあい協力	まとめと発表に向けて班員と目標を共有でき、価値観や意見が異なる班員とも互いに教えあい、協力して取り組むことができる。	まとめと発表に向けて班員と目標を共有でき、価値観や意見が同じ班員とは互いに教えあい、協力して取り組むことができる。	まとめと発表に向けて班員と目標を共有する努力ができるが、互いに教えあい協力して取り組むことができない。	まとめと発表に向けて班員と目標を共有できない。他者から促されて取り組む。		

記載 年 月 日 ()	研究分野 (数学/物理/化学/生物/共創)	研究テーマ	3 年 組 号	氏名
--------------	--------------------------	-------	---------	----

科目「SSH探究I」のルーブリック

佐賀県立致遠館高等学校普通科第1学年 ver3.0 (令和2年度)

3つの柱	観 点	学習到達レベル				授業のどんな学習活動で身に付いたと思うか？(自由記述)	自己評価 (S/A/B/C)	教員の評価 (S/A/B/C)
		期待を上回る水準(S)	目標水準(A)	目標まであと一步(B)	要改善(C)			
知識及び技能	研究活動についての理解	意義や過程 研究倫理	研究活動の意義や過程を理解することができ、研究倫理(不正行為、生命・人権の配慮)について理解することができる。	研究活動の意義や過程を理解することができ、研究倫理(不正行為、生命・人権の配慮)について理解することができる。	研究活動の意義や過程を理解する努力ができるが、研究倫理(不正行為、生命・人権の配慮)について理解することができない。	研究活動の意義や過程を理解することができない。他者から指摘されて気づく。		
	研究テーマ設定のための知識	書籍等の知識 関連付け	自分達が取り組みたい研究に必要な知識を書籍や教科書等から得ることができ、既得の知識と関連付けることができる。	自分達が取り組みたい研究に必要な知識を書籍や教科書等から得ることができ、既得の知識と関連付ける努力ができる。	自分達が取り組みたい研究に必要な知識を書籍や教科書等から得る努力ができるが、既得の知識と関連付けることができない。	自分達が取り組みたい研究に必要な知識を書籍や教科書等から得ることができない。他者から教えてもらって得る。		
力、考 表力 現力 判 等断	論理的思考力	収集と整理 筋道立て	事実やデータを適切に収集・整理することができ、筋道立てて結論を導き出し、人が理解できる適切な表現ができる。	事実やデータを適切に収集・整理することができ、筋道立てて結論を導き出し、人が理解できる適切な表現ができる。	事実やデータを適切に収集・整理する努力ができるが、筋道立てて結論を導き出し、人が理解できる適切な表現ができない。	事実やデータを適切に収集・整理することができない。他者から促されて取り組む。		
学びに向かう力、人間性等	試行錯誤から学ぶ力 *学習活動を通して試行錯誤した経験を別紙に書いて回答すること。	原因や理由 改善策や教訓	自分が試行錯誤した事実をもとに原因や理由を書くことができ、改善策や教訓を書くことができる。	自分が試行錯誤した事実をもとに原因や理由を書くことができ、改善策や教訓を書く努力ができる。	自分が試行錯誤した事実をもとに原因や理由を書く努力ができるが、改善策や教訓を書くことができない。	自分が試行錯誤した事実をもとに原因や理由を書くことができない。他者から指摘されて気づく。		
	メタ認知的活動 (自分の考えを客観的にとらえることや、状況に合わせて自分の考えを修正すること)	考えを客観化 方法等の修正	何を解決したいかや検証方法が妥当かを考えることができ、課題解決に向けて研究の方向性や方法を修正することができる。	何を解決したいかや検証方法が妥当かを考えることができ、課題解決に向けて研究の方向性や方法を修正する努力ができる。	何を解決したいかや検証方法が妥当かを考える努力ができるが、課題解決に向けて研究の方向性や方法を修正することができない。	何を解決したいかや検証方法が妥当かを考えることができない。他者から指摘されて気づく。		
	特殊的好奇心 (矛盾や不整合を解消するため特定の情報を探し求める好奇心)	妥当性の判断 仮説の設定	仮説の妥当性を判断することができ、課題についてより深く探り当てたいと次の仮説を設定して取り組むことができる。	仮説の妥当性を判断することができ、課題についてより深く探り当てたいと次の仮説を設定して取り組む努力ができる。	仮説の妥当性を判断する努力ができるが、課題についてより深く探り当てたいと次の仮説を設定して取り組むことができない。	仮説の妥当性を判断することができない。他者から指摘されて気づく。		
	G R I T(やり抜く力)	粘り強い努力 興味の一意性	課題の解決に向けて、粘り強く努力することができ、一貫して同じ対象に興味を持って取り組むことができる。	課題の解決に向けて、粘り強く努力することができ、一貫して同じ対象に興味を持って取り組むよう意識することができる。	課題の解決に向けて、粘り強く努力するよう意識することができるが、一貫して同じ対象に興味を持って取り組むことができない。	課題の解決に向けて、粘り強く努力することができない。他者から促されて取り組む。		
	協働的に取り組む態度	目標の共有 教えあひ協力	課題の解決に向けて班員と目標を共有でき、価値観や意見が異なる班員とも互いに教えあひ、協力して取り組むことができる。	課題の解決に向けて班員と目標を共有でき、価値観や意見が同じ班員とは互いに教えあひ、協力して取り組むことができる。	課題の解決に向けて班員と目標を共有する努力ができるが、互いに教えあひ協力して取り組むことができない。	課題の解決に向けて班員と目標を共有できない。他者から促されて取り組む。		

記載 年 月 日 ()	研究分野 (人文/社会/自然/学際/共創)	研究テーマ	1 年 組 号	氏名
--------------	--------------------------	-------	---------	----

科目「SSH探究Ⅱ」のルーブリック

3つの柱	観 点	学習到達レベル				授業のどんな学習活動で身に付いたと思うか？(自由記述)	自己評価 (S/A/B/C)	教員の評価 (S/A/B/C)
		期待を上回る水準(S)	目標水準(A)	目標まであと一步(B)	要改善(C)			
知識 能力及び	研究のための知識・技能	論文等の知識 関連付け	先行研究となる論文等から研究に必要な知識・技能を得ることができ、既得の知識・技能と関連付けて研究に活用できる。	先行研究となる論文等から研究に必要な知識・技能を得ることができ、既得の知識・技能と関連付けて研究に活用する努力ができる。	先行研究となる論文等から研究に必要な知識・技能を得る努力ができるが、既得の知識・技能と関連付けて研究に活用できない。	先行研究となる論文等から研究に必要な知識・技能を得ることができない。他者から教えてもらって得る。		
思考力、 表現力、 判断力、 等	クリティカルシンキング	影響されない 事実やデータ	仮説に対する期待に影響されないように意識することができ、事実やデータをもとに論理的に考えることができる。	仮説に対する期待に影響されないように意識することができ、事実やデータをもとに論理的に考える努力ができる。	仮説に対する期待に影響されないように意識する努力ができるが、事実やデータをもとに論理的に考えることができない。	仮説に対する期待に影響されないように意識することができない。他者から指摘されて気づく。		
	表現力・対話力	計画や過程 表現と理解	研究計画や仮説の検証過程を理解でき、正確に表現したり、質問や意見を正確に理解したりすることができる。	研究計画や仮説の検証過程を理解でき、正確に表現したり、質問や意見を正確に理解したりする努力ができる。	研究計画や仮説の検証過程を理解する努力ができるが、正確に表現したり、質問や意見を正確に理解したりできない。	研究計画や仮説の検証過程を理解できない。他者から教えてもらって気づく。		
学びに向かう力、 人間性等	試行錯誤から学ぶ力 *学習活動を通して試行錯誤した経験を別紙に書いて回答すること。	原因や理由 改善策や教訓	自分が試行錯誤した事実をもとに原因や理由を書くことができ、改善策や教訓を書くことができる。	自分が試行錯誤した事実をもとに原因や理由を書くことができ、改善策や教訓を書く努力ができる。	自分が試行錯誤した事実をもとに原因や理由を書く努力ができるが、改善策や教訓を書くことができない。	自分が試行錯誤した事実をもとに原因や理由を書くことができない。他者から指摘されて気づく。		
	メタ認知的活動 (自分の考えを客観的にとらえることや、状況に合わせて自分の考えを修正すること)	考えを客観化 方法等の修正	何を解決したいかや検証方法が妥当かを考えることができ、課題解決に向けて研究の方向性や方法を修正することができる。	何を解決したいかや検証方法が妥当かを考えることができ、課題解決に向けて研究の方向性や方法を修正する努力ができる。	何を解決したいかや検証方法が妥当かを考える努力ができるが、課題解決に向けて研究の方向性や方法を修正することができない。	何を解決したいかや検証方法が妥当かを考えることができない。他者から指摘されて気づく。		
	特殊的好奇心 (矛盾や不整合を解消するため特定の情報を探し求める好奇心)	妥当性の判断 仮説の設定	仮説の妥当性を判断することができ、課題についてより深く探り当てたいと次の仮説を設定して取り組むことができる。	仮説の妥当性を判断することができ、課題についてより深く探り当てたいと次の仮説を設定して取り組む努力ができる。	仮説の妥当性を判断する努力ができるが、課題についてより深く探り当てたいと次の仮説を設定して取り組むことができない。	仮説の妥当性を判断することができない。他者から指摘されて気づく。		
	G R I T(やり抜く力)	粘り強い努力 興味の一意性	課題の解決に向けて、粘り強く努力することができ、一貫して同じ対象に興味を持って取り組むことができる。	課題の解決に向けて、粘り強く努力することができ、一貫して同じ対象に興味を持って取り組むよう意識することができる。	課題の解決に向けて、粘り強く努力するよう意識することができるが、一貫して同じ対象に興味を持って取り組むことができない。	課題の解決に向けて、粘り強く努力することができない。他者から促されて取り組む。		
	協働的に取り組む態度	目標の共有 教えあい協力	課題の解決に向けて班員と目標を共有でき、価値観や意見が異なる班員とも互いに教えあい、協力して取り組むことができる。	課題の解決に向けて班員と目標を共有でき、価値観や意見が同じ班員とは互いに教えあい、協力して取り組むことができる。	課題の解決に向けて班員と目標を共有する努力ができるが、互いに教えあい協力して取り組むことができない。	課題の解決に向けて班員と目標を共有できない。他者から促されて取り組む。		

記載 年 月 日 ()	研究分野 (人文/社会/自然/学際/共創)	研究テーマ	2 年 組 号	氏名
--------------	--------------------------	-------	---------	----

科目「SSH探究Ⅲ」のルーブリック

3つの柱	観 点	学習到達レベル				授業のどんな学習活動で身に付いたと思うか？(自由記述)	自己評価 (S/A/B/C)	教員の評価 (S/A/B/C)
		期待を上回る水準(S)	目標水準(A)	目標まであと一步(B)	要改善(C)			
知識及び技能	研究成果をまとめ発表するための知識	論文等の知識 既知との区別	先行研究となる論文等から適切な単語や表現等を得て活用できる。既知の情報と研究による知見を区別することができる。	先行研究となる論文等から適切な単語や表現等を得て活用できる。既知の情報と研究による知見を区別することができる。	先行研究となる論文等から適切な単語や表現等を得て活用する努力ができる。既知の情報と研究による知見を区別できない。	先行研究となる論文等から適切な単語や表現等を得て活用できない。他者から教えてもらって得る。		
	段落構成や文章構成についての知識・技能	パラグラフ 文章構成	1段落に1つの主張だけを述べることができ、曖昧な表現を避けた、無生物主語や受動態を用いた文章を書くことができる。	1段落に1つの主張だけを述べることができ、曖昧な表現を避けた、無生物主語や受動態を用いた文章を書く努力ができる。	1段落に1つの主張だけを述べる努力ができるが、曖昧な表現を避けた、無生物主語や受動態を用いた文章を書くことができない。	1段落に1つの主張だけを述べることができない。他者から指摘されて気づく。		
力思、考力、現力、判断	論理的思考力	収集と整理 筋道立て	事実やデータを適切に収集・整理することができ、筋道立てて結論を導き出し、人が理解できる適切な表現ができる。	事実やデータを適切に収集・整理することができ、筋道立てて結論を導き出し、人が理解できる適切な表現ができる。	事実やデータを適切に収集・整理する努力ができるが、筋道立てて結論を導き出し、人が理解できる適切な表現ができない。	事実やデータを適切に収集・整理することができない。他者から促されて取り組む。		
学びに向かう力、人間性等	試行錯誤から学ぶ力 *学習活動を通して試行錯誤した経験を別紙に書いて回答すること。	原因や理由 改善策や教訓	自分が試行錯誤した事実をもとに原因や理由を書くことができ、改善策や教訓を書くことができる。	自分が試行錯誤した事実をもとに原因や理由を書くことができ、改善策や教訓を書く努力ができる。	自分が試行錯誤した事実をもとに原因や理由を書く努力ができるが、改善策や教訓を書くことができない。	自分が試行錯誤した事実をもとに原因や理由を書くことができない。他者から指摘されて気づく。		
	メタ認知的活動 (自分の考えを客観的にとらえることや、状況に合わせて自分の考えを修正すること)	全体像の理解 適切なまとめ	まとめと発表に向けて、これまでの研究の全体像を理解することができ、適切にまとめることができる。	まとめと発表に向けて、これまでの研究の全体像を理解することができ、適切にまとめる努力ができる。	まとめと発表に向けて、これまでの研究の全体像を理解する努力ができるが、適切にまとめることができない。	まとめと発表に向けて、これまでの研究の全体像を理解することができない。他者から指摘されて気づく。		
	特殊的好奇心 (矛盾や不整合を解消するため特定の情報を探し求める好奇心)	妥当性の判断 今後の展望	仮説の妥当性を判断することができ、課題についてより深く探り当てたいと今後の展望を適切に述べることができる。	仮説の妥当性を判断することができ、課題についてより深く探り当てたいと今後の展望を適切に述べる努力ができる。	仮説の妥当性を判断する努力ができるが、課題についてより深く探り当てたいと今後の展望を適切に述べることができない。	仮説の妥当性を判断することができない。他者から指摘されて気づく。		
	G R I T (やり抜く力)	粘り強い努力 興味の一貫性	まとめと発表に向けて、粘り強く努力することができ、一貫して同じ対象に興味を持って取り組むことができる。	まとめと発表に向けて、粘り強く努力することができ、一貫して同じ対象に興味を持って取り組むよう意識することができる。	まとめと発表に向けて、粘り強く努力しよう意識することができるが、一貫して同じ対象に興味を持って取り組むことができない。	まとめと発表に向けて、粘り強く努力することができない。他者から促されて取り組む。		
	協働的に取り組む態度	目標の共有 教えあい協力	まとめと発表に向けて班員と目標を共有でき、価値観や意見が異なる班員とも互いに教えあい、協力して取り組むことができる。	まとめと発表に向けて班員と目標を共有でき、価値観や意見が同じ班員とは互いに教えあい、協力して取り組むことができる。	まとめと発表に向けて班員と目標を共有する努力ができるが、互いに教えあい協力して取り組むことができない。	まとめと発表に向けて班員と目標を共有できない。他者から促されて取り組む。		

記載 年 月 日 ()	研究分野 (人文/社会/自然/学際/共創)	研究テーマ	3 年 組 号	氏名
--------------	--------------------------	-------	---------	----